

子供も教職員も保護者も地域も『幸せ』な学校を目指します！

# 向山通信

4月号

令和3年4月6日



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

## 感染防止と学びの保障の両立を図ります

校長 小池 智彦

ご入学・ご進級おめでとうございます。向山小学校の令和3年度が始まりました。学校長の小池智彦です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ワクチンの接種が始まったとはいえ、我々が接種するのは当分先になりそうですし、コロナ禍が確実に収束し、マスクをつけなくてもよい普通の生活、制約のない教育活動ができるようになる日常が戻ってくるのは、まだ先のことでしょう。

4月1日付で、練馬区教育委員会から「改訂版感染予防のガイドライン」が示されました。向山小学校ではこのガイドラインに則り、**子供たちの安全・安心を確保しながら、学びの保障の両立を図る**教育活動を進めてまいります。ガイドラインの具体的な内容を挙げてみます。

- ・マスクの着用、手指消毒、こまめな換気、身体的距離の確保などの基本的な感染予防対策を徹底した上で、各種活動に応じた対策を講じて実施する。
- ・屋外や運動施設における運動は、必要に応じたマスクの着用や可能な限りの接触の回避などの工夫を講じた上で実施する。
- ・屋内における歌唱は、マスクを着用して行う。また、1～2メートル程度の身体的距離の確保や前後の列において児童が重なって位置しない隊形とするなどの対策を講じた上で実施する。
- ・屋内におけるリコーダーや鍵盤ハーモニカなどの管楽器演奏は、1～2メートル程度の身体的距離の確保や前後の列において児童が重なって位置しない隊形とするなどの対策を講じた上で実施する。
- ・調理実習は、持ち場や役割分担を明確にするなどして、密な状況を避ける工夫を可能な限り講じた上で実施する。調理後の喫食では、児童が対面しない座席配置としたり対面や並列する児童の間にパーテーションを置いたりするなどの対策を講ずる。
- ・理科などにおける実験・観察は、活動するグループの人数を可能な限り少なくし、顔や頭を寄せ合う状況を避けることの指導を行った上で実施する。
- ・学校行事は、新しい生活様式を踏まえ、参加人数や内容の縮小および活動時間や準備時間の縮減などの工夫を講じた上で実施する。
- ・移動教室は、「練馬区立学校（園）改訂版感染予防のガイドライン等に基づく宿泊を伴う校外学習の手引き」に基づき実施する。

このように、感染予防策をとりながら、教育活動は可能な限り通常通り実施する考え方が示されています。2月に一人1台貸与されたタブレット端末の活用を一層進めながら、一人一人の学びの充実を実現させていきたいと思っております。

保護者の皆様には、毎日の健康観察表の提出、体調不良や兄弟関係の不調の際の登校見合わせ、ご家庭内での感染予防、休日の過ごし方などで引き続きご協力をいただきます。

「子供も教職員も保護者も地域も『幸せ』な学校」を目指して、教職員一同精一杯頑張っております。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。